

大和田機場春の一般開放 開催

平成30年4月7日（土）、『大和田機場春の一般開放』を開催しました。

このイベントは、桜の開花時期及び「千葉の水回廊ウォーク&疏水百選印旛沼ウォーク」の開催日に合わせて、印旛沼の洪水を東京湾に排水する大和田機場を一般開放し、ポンプ見学ガイドツアーやポンプ試運転などを通じて市民の皆さんに大和田機場の役割を広く知っていただくことを目的に、併せて、桜の花を皆さんに楽しんでいただくことを目的に毎年開催しています。

今年は桜の開花が早く満開の桜もとの一般開放とはいきませんでした。が、「千葉の水回廊ウォーク&疏水百選印旛沼ウォーク」のゴールが、今年は大和田機場になったこともあり、ウォーキング参加者も含め約350人の皆さんにお越しいただきました。



(賑わうイベント会場)

市民の皆さんが普段入ることができない大和田機場を開放し、建物の2階からポンプ設備をご覧いただくとともに、印旛沼の水管理などに関するパネルを展示し、大和田機場の施設の重要性や印旛沼の水管理などについて説明を行いました。また、午前午後の2回開催したポンプ見学ガイドツアーには、それぞれ約20名ほどの皆さんが参加され、普段は見ることのできないポンプ設備の動力であるガスタービンエンジンなどの設備を間近にご覧いただきながら、設備の仕組みや重要性などについて説明を行いました。さらに、大和田機場のポンプ試運転を行い、実際の排水の様子を間近でご覧いただきました。



(ポンプ見学ガイドツアー)



(ポンプ試運転)

このほか、毎年講演していただいている郷土歴史作家の小林千代美先生による印旛沼の洪水との闘いの歴史講演会、農林水産省関東農政局印旛沼二期農業水利事業所による印旛沼周辺の農業用水施設の更新や農業水利事業の再編などのパネル展示による事業紹介、国立研究開発法人土木研究所による印旛沼に繁

殖して問題になっている水草のオニビシを利用した堆肥及びその堆肥で育てたレタス苗の配布も行われました。

さらに、今年は水土里ネット印旛沼（印旛沼土地改良区）による豚汁の配布も行われ、イベントを盛り上げていただくとともに、毎年イベントに花を添えていただいているやちよ・花のかざぐるまを作る会による「花のかざぐるま作り無料体験」も行われ、お子さんから大人まで、花のかざぐるま作りを楽しまれました。



(印旛沼の歴史講演会)



(印旛沼二期農業水利事業説明)



(オニビシ堆肥・レタス苗の配布)



(花のかざぐるま作り体験)



(豚汁の配布)

当管理所では、大和田機場の役割や印旛沼の水管理などについて、より多くの皆さんに知っていただくとともに、桜の花を楽しんでいただくため、来年以降もこのイベントを開催していきますので、是非、足をお運びください。